

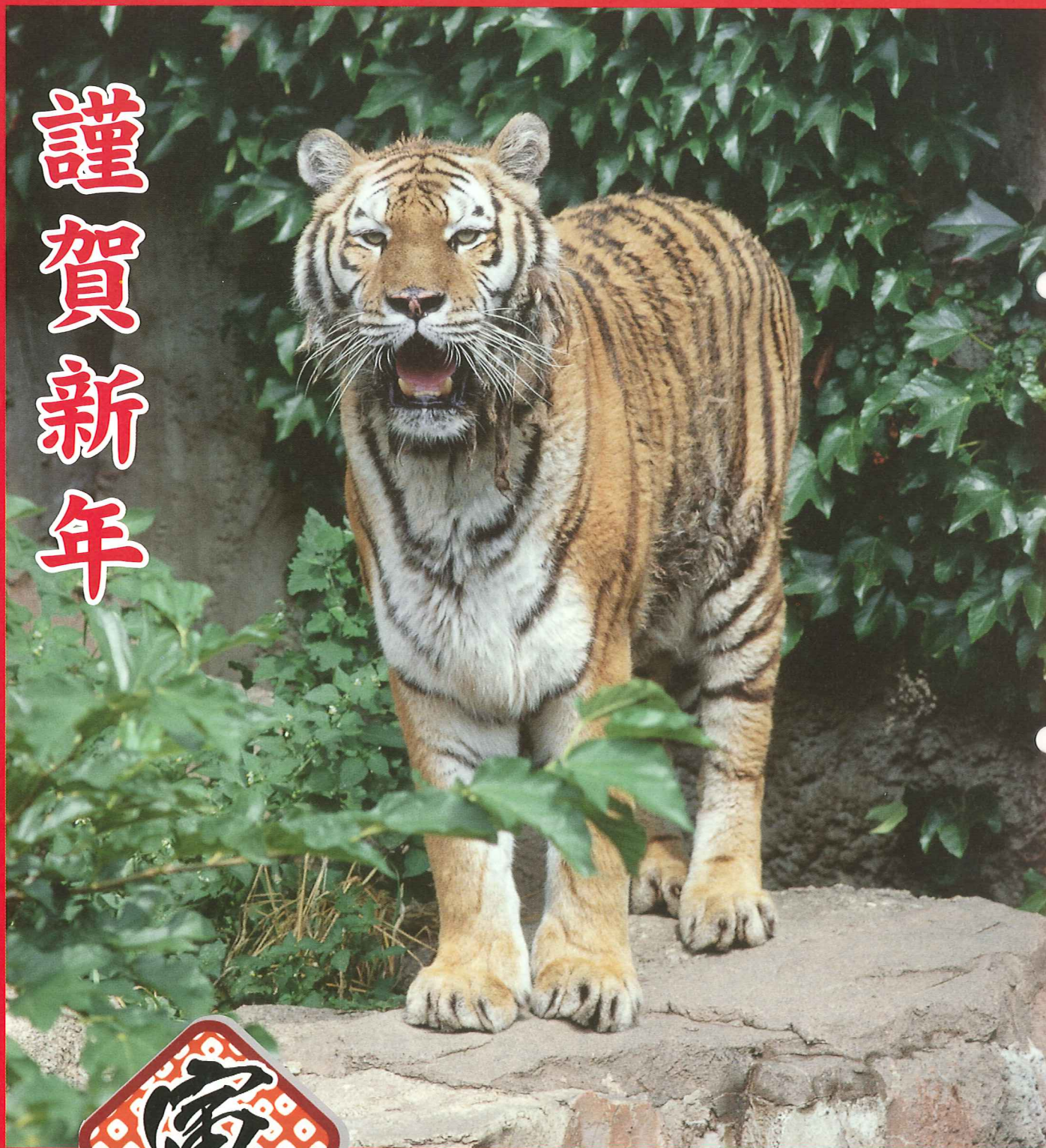
なかしゅんべつ

2010

1

No.384

謹
賀
新
年





旧年中のご愛顧を感謝申し上げます

皆様のご健康とご多幸を

心よりお祈り申し上げます

平成二十二年元旦

代表理事組合長 竹田 國男

副組合長理事 小湊 保

専務理事 丹羽 善實

常務理事 佐藤 猛

理 (総務経済委員長) 事 兼松 幸裕

理 (営農生産委員長) 事 藤倉 紀夫

理 望月 英彦

理 奥山 秀幸

理 中西 貴司

代 表 監 事 (員 外) 南澤 三郎

監 事 平井 真一

監 事 西川 寛稔

外職員一同

中春別酪農対策協議会会長 望月 英彦 外会員一同

中春別農協青年部部长 石森 裕治 外部員一同

中春別農協女性部部长 青野 美幸 外部員一同

中春別農協良質生乳生産推進委員会委員長 奥山 秀幸 外会員一同

中春別乳牛改良同志会会長 山田 博和 外会員一同

中春別乳牛検定組合組合長 竹田 國男 外組合員一同

中春別農協農業後継者対策協議会会長 藤倉 紀夫 外会員一同

中春別農協年金友の会会長 渡邊 栄頭 外会員一同



新年のごあいさつ

中春別農業協同組合 代表理事組合長 竹田 國男

組合員の皆様、明けましておめでとうございませう。ご家族お揃いで輝かしい新年を迎えられました事を、謹んでお慶び申し上げます。

さて、昨年を顧みますと春先からの低温と多雨・日照不足により、牧草の生育遅れによる減収が顕著な年でありました。天候の回復を期待しながらの収穫作業でしたが、結局は二番草に至るまで悪天候に悩まされ、質・量共に粗飼料の確保に苦勞の多い年でありました。こうした状況の中で組合員の皆様のご努力に敬意を表する次第でございます。

飼料作物はもちろんです。水稲・畑作物等全道的に冷害の年であった事はご承知の通りであり、当地区においては全体として予想以上に粗飼料不足の組合員が多い実態にあることから、栄養不足の補完を含め飼料対策を取り進めているところであります。酪農情勢につきましては、これまでの原油・飼料穀物の暴騰もやや落ちつきを見せ、高止まりとはいえ一息ついたところですが、依然として回復しない景気の落ち込みは国内全体を巻き込んだ「デフレスパ

イラルの闇」となつて深刻さを増し、牛乳・乳製品の消費減退は日に日に悪化する状況となつて参りました。このような中で需給バランスの崩れや輸入価格の急落を踏まえて、チーズ向け原料乳価が期中改定されたところであり、10月1日からの下期取引分は1kg当たりゴータ・チェダー向けは46円、その他向けは50円と建値が設定されました。また、委託加工を含むチーズ向け販売見込数量を当初の数量に4万トン上積みされることになりましたが、これらに伴う「プールの乳価」への影響は、下期出荷乳量に対して1kg約2円40銭値下りする見込みとなっております。

飲用乳需要は、特に8月以降都道府県で近年にない大幅な減少となっていることから生乳の道外移出も大きくマイナスとなっております。したがって、加工原料乳限度数量195万トンに対して8万トン以上のオーバーが見込まれると予測されております。これらの状況から、今後の消費動向は予断の許さないと考えております。

平成21年度の生乳生産につきましては、北海道の生産枠として中央酪農会議から前

年比103%で配分されたところであり、第7期生乳生産安定対策である「北海道酪農生産体制強化対策」は増産方向で取り決めがなされたところであり、道内主産地の上期実績は前年比102%、103%で順調に推移しておりますが、9月以降下期に入り100%前後で下降線を辿っております。当地区においても11月末累計で100・9%と他地域と同様に推移しているところであり、今後の上向きを期待しておりますが、引き続き計画達成にご努力をお願い申し上げます。

一方、国際化の進展は酪農経営に多大な影響を及ぼすものと思われ、「WTO農業交渉」、アジア太平洋諸国をはじめとする各国の「EPA/FTA」の推進にあたっては、食の安全・安心・安定供給と国内農業・農村の振興に細心の注意を払うことを強く要望するところであり、

農協事業の進捗状況につきましては、概ね計画に沿って推移しておりますが、重点項目に掲げております「営農指導・支援機能の充実強化」については、経営

改善プロジェクトの着実な実践を含め、負債償還の軽減対策等、経営体質の強化を図るべく推進しております。また、「農協経営の健全化に向けた財務基盤の強化」についてもそれぞれ事業を推進しておりご理解とご協力をお願い申し上げます。

乳質向上対策につきましては、良質乳生産への日頃の取り組みに感謝申し上げます。当地域も乳質改善の成果が評価され信頼も高まって参りました。その成果ともいえる関東圏を中心とする生活クラブ連合会が中春別産生乳を使用した乳製品（バター）を安定供給してほしい旨の要望にこたえるため、実現化に取り組み事と致しました。引き続き衛生的乳質・高品質乳の更なるレベルアップにご努力をお願い申し上げます。

農業・農協を取り巻く情勢が著しく変化する中で、平成22年度以降の「地域農業振興計画」の策定並びに「第8次中期経営計画」の樹立に向けて取り進めているところであり、

農協子会社の(有)中春別マシセンセンター・(有)ジェイエー・ワンプにつきましては、組合員の皆様のご支援に感謝申し上げます。

昨年は天候不順で受託した作業が遅れ大変ご迷惑をおかけしましたことをお詫びすると共に、今後の更なるご利用をお願い申し上げます。

結びになりますが、激動する酪農情勢の中、「組合員の営農と生活を守る」組織として第26回JA北海道大会（11月20日開催）の決議事項である「北海道農業の潜在能力のフル発揮への挑戦」、「協同と信頼の絆で築く新時代のJA」そして「活気と潤いに満ちたゆとりある中春別」の構築を目指して、役員が一体となって取り組んで参りますので、組合員の皆様の絶大なご理解をお願い申し上げますと共に、本年は災害がなくご家族共々に豊穡の秋を迎える事が出来まますよう心からご祈念申し上げます。ご挨拶と致します。





新年にあたり

北海道農業協同組合中央会 会長 飛田 稔章

組合員をはじめJA役職員の皆様方が、希望に満ちた平成22年の新春を家族とともに迎えられたことを心からお喜び申し上げます。

昨年の本道農業は、夏の長雨と日照不足などの天候不順により、米の作況指数89になるなど、総体的に平年作を下回る厳しい結果となり、その被害総額は約600億円の見込みとなりました。

JAグループ北海道といたしましても、関係団体を含めた「平成21年度北海道農業団体冷害等対策本部」を設置し、北海道など関係団体と連携して、組合員の営農と生活の安定に向けて諸対応を行っているところであります。

さて、わが国の景気は、国内外の政策発動を主因とする効果により春先以降の持ち直しの動きがあるものの、失業率が5%を上回る高い水準にあり、依然として、世界の金融危機に端を発する経済混乱の影響を脱しきれない状況にあります。

また、北海道農業は、農業者の高齢化と

担い手不足など、地域農業の構造変化が続く中で、農地制度改革や食料・農業・農村基本計画の見直し、戸別所得補償制度の導入検討など、農業政策は大転換期を迎えております。

さらに、WTO農業交渉やEPA・FTA交渉の決着に向けた動きが模索されており、その決着如何では北海道農業はもとより、関連産業、地域経済にも深刻な影響をおよぼすことが危惧されております。

このため、JAグループ北海道といたしましては、断固阻止の立場から、今後も、全国のJAグループや道内の経済・消費者団体などと連携し、あらゆる対応を図ってまいります。

こうした中、昨年開催した第26回JA北海道大会では、「協同の力で築く『あすの食をささえる北海道農業』」を主題とし、組合員が、JA運動の主人公であることを再確認し、日本の食料基地北海道を自負するJAグループ北海道として、「北海道農業が保有する潜在能力をフル発揮して、農

業者が農業生産に意欲的に取り組むことができるための農業所得の拡大に取り組む」とともに、「JAと組合員の強固な結びつきのもと、多様な事業機能の発揮により、組合員・地域住民の皆様にご利用されるJAづくりに向けて取り組むこと」を決議しました。

この決議事項は、向こう3カ年におけるJAが取り組むべき指針であり、その実践を通じて北海道農業がさらなるステップアップを図り、食料自給率の向上に寄与し、安全・安心な農畜産物の安定供給を通じて、消費者の皆さんが、北海道農業を応援してもらうための取組みであり、また、JA経営においては、経営の健全化と強靱な経営基盤を確立し、組合員の期待に応じられる高度な事業機能を有するJAとなることを目指すものでありますので、全JAでの取組みが求められるものであります。

最後に、金融不況による景気の低迷や、

WTO農業交渉などの進展が、私ども農業界に与える影響が懸念されますが、全道の組合員の皆さんをはじめ役員が『一人は万人のために、万人は一人のために』という協同組合の理念をより所にして、JAへの結集を強め、協同運動を強力に展開することにより、この苦境を打開できるものと確信しております。

本年は災害がなく豊穡の出来秋を迎えることができますよう心から祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。



中春別酪農対策協議会 会長 望月 英彦

生乳は必要な食料であり 安定供給する使命があります



新年明けましておめでとうございます。
会員の皆様には、ご家族そろって健やかに新年をお迎えのことと謹んでお慶び申し上げます。

昨年を顧みますと、長かった生産調整が終え、穀物相場や肥料価格もまだまだ高い水準に有りながらも、落ち着きを取り戻し搾れる環境のスタートを切りました。また、「丑年には不作なし」の言葉に希望を託しておりましたが、収穫期の天候不順はとうとう二番草終了まで続き、皆様にはご苦労されたことと思います。

その中で栄養価の高い牧草収穫がいかに大切か、昨年は草地管理の重要性について、あらためて感じさせられた年でもあり、教訓を踏まえ、なお一層運動に力を入れていかなければならないと思います。

昨夏の衆議院選挙では、結果として政権が変わり、予算の見直しや事業仕分け作

業が始まりました。

今年度で終期となる中山間事業も対象となり論議されましたが、継続の方向性が強く安堵している所であり、今後恒久化に向け確実に実行していただければと思います。

昨年、我々の経済は乳価の値上げ、乳牛の高値で比較的に安定した一年を取り戻した感がありました。全体の景気の落ち込みにより消費の方は飲用乳を中心とした減少と、バター等の在庫積み増しとなり、加えて円高デフレと大きく経済が後転してしまいました。

年末には、生乳需給緩和対策の議論が具体的対応として、様々な角度から検討している所でありますが、過去の経過から、我々が一致団結し自己欲を捨て、優しく思いやりを持つて進めることにより、必ずや道は開けて来ると、確信しております。

今世界的には、乳製品の価格が少しずつ上がり始め、流

通しづらい傾向になってきており、一方では少子化の中、大量の乳製品の消費は望めませんが、生乳は確実に必要な食料の一つであり、国民に安定供給する使命があります。

そのためにも、我々の仲間をこれ以上減らさない努力をしていかなければならず、牛舎の声を国民に大にして発信していくことが必要であると思います。

今後、我々の中春別産生乳が、別海乳業公社で製品化し、クラブ生協を通じてバター供給を全国32万人の生協会員に販売展開する取り進めを検討しており、小さなことではあります。明るい話題の一つとして前向きに捉え、様々なことにチャレンジして参りたいと思います。

我々の職業は、朝起きて毎日仕事は確実にあり、それだけでも明るい職業だと信じ、一年を通して笑顔で働ける事を願い、年頭のご挨拶とさせていただきます。



中春別農協青年部 部長 石森 裕治

新年あけましておめでとうございます。謹んで新年のお祝いを申し上げます。昨年は当青年部事業推進に当たり組合員の皆様には、多大なるご理解、ご協力をいただきました事を心から感謝、御礼申し上げます。



中春別農協女性部 部長 青野 美幸

新年あけましておめでとうございます。ご家族おそろいで輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。日頃より女性部活動に對しまして、部員の皆様をはじめ、農協、各関係機関の皆様には多大なるご指導、ご協力

英知を結集し山積する難関を乗り越えよう

中でも昨年末に消費拡大事業の一環として実施いたしました青年部オリジナルお歳暮ギフト取りまとめにおきまして、組合員申込総数3タイプ合計200セットの申込みをいただく事が出来、地元で生産し製品・原料加工されたチーズ・バター、地区内で生産され素牛まで育てられ、肥育後加工された牛肉を全国の食卓にお届けする事ができました。私達が住むこの地域も昨年は、例年より早く春の肥

料散布作業を行う事が出来ましたが、6月から7月にかけての長雨、低温の影響を受け生育は今ひとつ、結果刈おくれとなり栄養価は低く、乳量も伸び悩み過去に例の無い状態となり、今後、乳牛の体調への影響も考えられる事から、部員間でも心配の声が上がっております。また、約2年間にも及んだ配合飼料、生産資材の価格高騰は、私達の経営に大きく影響を与えました。乳

価の期中引き上げや各種対策も施されてはおりますが、価格が落ち着いた今でも深い爪あとを残しております。世界的な金融危機の影響もあり今後、WTO農業交渉、EPA・FTAなどの問題が早期決着に向け動き出す可能性もあり、予断を許さない状況であります。また、政権が変わり農業予算が大幅に削減される中、安定的に酪農を続けていくためにも国際競争力の向上や地域産業の活性化、そし

て持続、自給率の向上、自然環境への対応など多くの課題があり、これらの難関を乗り越えるためにも各種農業団体や各組織、そして、個々の酪農家が英知を結集して実践していかなければ解決につながらないと思います。不安が残る中、新年を迎えましたが、今年こそは我々、酪農家にとつて明るい光に照らされる一年である事と共に皆様、ご家族が健康で過ごされる事を祈念申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。

新メンバー加入で活動も明るく活発に

を賜り厚くお礼申し上げます。

先ごろ流行語大賞に「政権交代」が決定し紹介されましたが、昨年の大きな出来事として挙げられます。酪農情勢では、私達がかつて経験した事のない天候不順で、降水量も非常に多かったため、飼料不作と品質低下などが影響していることから生乳増産に大きくひびいて来ています。輸入粗飼料へ頼らざるを得ない状況です。

私たち女性部の活動は、多方面において幅広い活動を展開して参りました。特に牛乳・乳製品の消費拡大をテーマに各JA女性部と連携し、地区酪対、地区青年部、地区女性部主催による「まるごと北海道デイナーパーティー」の協力をしました。また、全道JAが結集したイベント「元気な食をいただきますin北海道」に当JAから5品を出品しました。10月1日～3日の研修旅行では、

札幌方面へ行き、日本ハムフアイターズ対オリックスバッファローズの試合を観戦したり、チクレンミート工場見学の良い機会をいただきました。お一人様が流行の時代ですが、団体様の楽しさや醍醐味を特に日本ハムフアイターズの応援では、その連帯感を味わいました。

その他に食農教育として次世代に食と農業の大切さを子供たちに伝えていく活動も進めてきました。今後益々女性の役割は重要で増大していくと思います。新メンバーが加わって活動にも明るい雰囲気を取り組んでいます。お子さん連れで参加していただく姿は本当に喜ばしく思います。今後とも皆様のご協力をお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。





乳牛改良の研鑽と向上を目指し

中春別乳牛改良同志会 会長 山田 博和

2010年、初春を迎えるにあたり、日頃よりご支援とご協力を頂いております皆様へ謹んでお慶びを申し上げます。

また、当同志会事業運営につきまして農協をはじめ、関係諸機関、企業、そして、会員の皆様のご理解とご協力をいただき、役員一同心より感謝とお礼を申し上げます。

昨年の取り組みと致しまして、会員・組合員の方々の見聞を広め、乳牛改良の研鑽を図るための「牧場視察研修」、種雄牛の理解を深める事を目的とした「女性による視察研修」、各機関のご協力を得ての「酪農講習会」、J A共進会後の「審査員との懇親会」、各共進会への参加協力。また、新たな事業と致しまして、当地区内における乳牛改良技術などの研鑽と向上を目的とした「地区内交流視察」を開催致しました。管内協議会では、「根室管内バーンミーティング」への参加。町協議会では、酪農家を講師に招いた「酪農講習会」の開催など会員他、皆様のご参加を頂きながら無事取り進めて参りました。当同志会も創立33年目を迎え、皆様のご協力に對しまして感謝の心でいっぱいでありませす。昨年は、天候不順による長雨が二番草の収穫作業終了まで続き粗飼料の不足、品質が心配される所でありませす。そんな中、乳価の値上げ、乳牛も比較的高値で取引され安定した点もありました。しかしながら、以前とし

て生産資材価格の暴騰や金融不安定における影響もあり今後も苦しい情勢が続く事が予測される中、今一度、この地域を生かした草地型酪農を見直し、良質な粗飼料を確保する事が大切であり、その中で、牛の管理技術の見直しについても考えて行かなければなりません。今日この中春別という地で酪農を営んで行ける環境を作っていただいた先代諸先輩の方々が、幾多の苦難と荒波を乗り越えられてこられてきた事を心に刻み込み、地域全体の更なる団結を取りながら今後の酪農経営に取り組んで行かなければならないという使命感を覚える所でありませす。

本年は、第13回全日本ホルスタイン共進会北海道大会が10月に安平町で開催されます。1頭でも多くの牛たちがこの大会に出場できる事を心より期待している所でありませす。

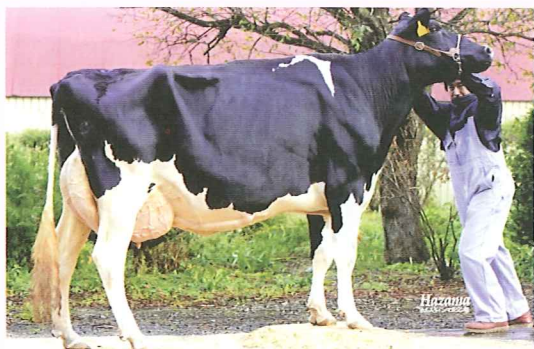
私共改良同志会といたしましても地域へどう寄与していけるか、農協、関係機関との連携を深めて時事に向かい取り組んで参る所存でございます。そして、中春別という地盤の強化を徹底して皆さんの力でこの時期を乗り越えて行きたいと思っております。

本年も組合員の皆様方のご理解を節にお願ひ申し上げますとともに組合員、ご家族皆様のご健勝とご多幸を御祈りいたしまして年頭のご挨拶とさせていただきます。

平成21年 新規エクセレント獲得牛

累計188頭

90点



プレゼント メダリスト ルーティ ジェスロ
 3-10 305 M10,102 F3.5% P3.4% H16.8.17生
 父:ロイレーン ジョーダン ET
 母:プレゼント メダリスト ルーティ ダーハム 88点
 中西 貴司所有

90点



アビリティファーム フォー マチツク
 4-6 305 M12,397 F3.7% P3.4% H115.9.12生
 父:コムスター スターマティツク ET
 母:アビリティファーム フォー ローラ
 橋本 幸二所有

90点

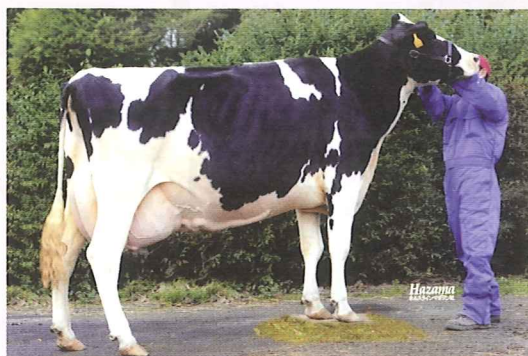


セイコー スプレー シリアス

3-9 305 M9,819 F4.3% P3.3% H14.10.16生
父:サマーシェード イグニター ET
母:セイコー スプレー アピール ET 89点

宗像 宏充所有

90点



ライブリー スポツティ ロレイン

4-4 305 M12,195 F4.2% P3.4% H15.10.1生
父:ロイレイン ジョーダン ET
母:ライブリー スポツティアー アーロン 83点

山田 光男所有

90点
2代EX

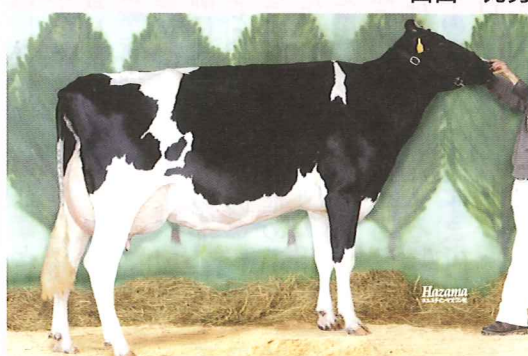


ライブリー ストーマイ マダム ジェスロ

4-8 266 M9,751 F3.9% P3.3% H15.7.19生
父:ロイレイン ジェスロ ET
母:ライブリー ストーマイ マダム 90点

山田 光男所有

90点
3代EX



ライブリー マダム ヒーローズ

3-2 305 M9,823 F3.8% P3.4% H16.7.29生
父:コムスター エルヒーローズ ET
母:ライブリー マダム アーロン 90点
祖母:ライブリー マダム スタートモア 90点

山田 光男所有

90点
2代EX



YMD インター ダーハム ヒーロー

4-0 305 M10,891 F3.5% P3.2% H16.4.2生
父:レーガンクレスト エルトン ダーハム ET
母:インター レクサス エース 90点

山田 博和所有

90点



フォーシーズンズ CL エリー

4-3 305 M9,356 F4.9% P3.4% H15.9.19生
父:コムスター リー ET
母:フォーシーズンズ エステイヤー エース 87点

菅原 美香所有

90点

スウィートブライアー スプレー モスキート

4-4 305 M10,726 F3.7% P3.1%
H15.8.21生

父:ストーダー モーティー ET
母:スウィートブライアー ストーマー スプレー 85点

竹田 潤所有

90点



ブルーミング エンジェル ピーターチエ

4-6 305 M10,420 F3.5% P3.4%
父:レーガンクレスト エルトン ダーハム ET
母:アビリティファーム プレゼント ピーターチエ 89点

妻沼 紘聖所有

90点
3代EX

ライブリー スポツテイ マンハツタン

5-4 305 M9,975 F4.7% P3.5%
H15.5.3生

父:ミスター マンハツタン ET
母:ライブリー スポツテイ ストーム 92点
祖母:ライブリー スポツテイ リンテイ ET 90点

山田 晃嗣所有

90点
3代EX

YMD ユリアナ ダーハム キヤメロン

4-10 305 M10,976 F3.6% P2.9%
H14.8.29生

父:レーガンクレスト エルトン ダーハム ET
母:YMD ユリアナ ラビツシユ チエルシー 90点
祖母:YMD ユリアナ ダニエル ジェシカ 91点

山田 博和所有

道産食材
の魅力を
PR

「まるごと北海道 ディナーパーティー」開催

中標津町「ウエディングプラザ寿宴」において根室地区酪農対策協議会、JA根室地区青年部連絡協議会、JA根室地区女性部連絡協議会主催の「まるごと北海道ディナーパーティー」が11月27日に今年も開催されました。



当日は多くの方々で会場は賑わい、各テーブルにはチーズ、パーティーをはじめ乳製品はもちろんの事、道産食材をふんだんに使用した料理が並び会場を訪れた方々は料理に舌鼓、皆さん美味しそうに食べておりました。また、地区女性協によるデザートのブースも設けられており、こちらも大賑わい。その他に道産米のブースなども設けられそれぞれ賑わいを見せておりました。

会場では、乳製品、米などが当たる抽選会も行われ一番の盛り上がりとなりました。

パークゴルフに興味と まだまだ現役ですよ!

組合員さんのご家族で今年の干支・寅年生まれの子供、年男、年女の
大正15年生まれの方をご紹介します。
まだまだ皆さん元気で毎日を楽しみながら現役ではつらつとしております。

【豊原地区】

- ① 名前
- ② 生年月日
- ③ 趣味
- ④ 今年の抱負



- ① 浅井 義一
- ② 大正15年3月14日
- ③ 習字
- ④ 元気に過ごす

- ① 福島 輝子
- ② 大正15年7月10日
- ③ ラジオを聴くこと
- ④ 元気に過ごす



- ① 藤崎 蔵次
- ② 大正15年9月25日
- ③ パークゴルフ・ミニテニス
- ④ 元気に過ごし趣味を楽しむ

【中春別地区】



- ① 平井 季義
- ② 大正15年1月21日
- ③ パークゴルフ・カラオケ
- ④ 健康に気を付け元気に過ごす



営農対策情報

根室農業改良普及センター

今年のは場管理を考える

排水対策・ルートマット対策を

昨年は長雨で収穫作業は困難を極めたことと思えます(写真1)。

今月号は、排水対策、草地の活性化に向けての取り組みを紹介します。



写真1 排水不良のは場。なかなか水が引かない状態が続いた

●は場内の排水性の改善

は場内に水が溜まらないようにするためには、草地下用サブソイラーなどの施工により排水性を改善します(写真2)。

は場は、深さ10cm前後が堅くなりやすく、その部分を物理的に改善する必要があります。



写真2 草地用サブソイラーによる切断の様子

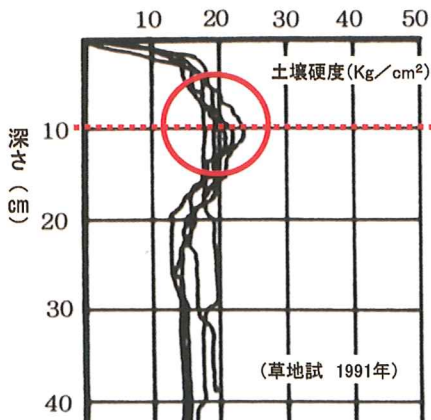


図1 草地における土壌硬度の測定例。草地では、深さ10cm前後の部位に堅い層が出現する

●ルートマット対策

あります(写真1)。施工後(写真3)、土壌の排水性が改善されたと、手応えを感じている事例もあります。

4、土壌中に養分や水分、



写真3 切断面の様子

草地下に養分や水分、

ルートマットを切断することで(写真5)、通気性、物理性が改善され、マメ科率の増加や、収量増加等の効果もあります。今年のは場を教訓としては場に



写真4 経年化した放牧地のルートマット



写真5 表層穿孔(せんこう)タイプ。写真はエアレーター

何らかの手を加え、より良い草作りができるよう考えて見ませんか? 詳しくは、普及センター、JAまでご連絡下さい。

ホルスタイン写真コンテスト結果発表

乳牛改良同志会(山田博和会長)主催で行いました第22回写真コンテスト予想投票は、46人のご応募がありました。

序列付けを同志会役員の浮川優氏にお願いし、**正解はC→F→D→B→A→E**となりました。

全問正解者は、いませんでした。抽選の結果、内山潤一さん、藤沼巧さん、工藤智紀さん、佐々木貴子さん、細川美由紀さん、細川由美子さん、成田幸子さん、能登華さん、能登琉花さん、真部更紗さんに賞品を贈呈いたしますので、畜産販売課畜産指導係までおこし下さい。

講評

この度、同志会写真コンテストの審査を仰せつかりました浮川優です。

今回は乳器写真コンテスト(成年クラス)です。しかも6頭もいるじゃあないですか!

前回の乳器コンテストは4頭だったはず…。ともあれ、私が選んだ序列は次のようになりました。

C→F→D→B→A→Eです。

全体的に見ると、上位3頭、下位3頭に分けられると思います。

1番目にしましたC号牛は、前乳房の付着、後乳房の高さ、乳頭の方向の正確さ、靱帯の強さでトップにしました。

次のF号牛ですが、前乳房の付着、乳頭の長さ、また向きなどの点でC号牛にトップを譲りました。

3番目のD号牛ですが、前2頭と比較した場合、乳房底面の高さ、若干、後乳房のバランスの点でF号牛の方が勝っているように感じられました。

B号牛ですが、まだしこりが残っているのか、底面に違和感がありますが靱帯の強さはあり、乳頭の長さ、配置は正確だと思いこの位置としました。

A号牛ですが、前乳房の付着が弱く感じられるのと、前後のバランスはE号牛より勝っていると判断して5番目にしました。

E号牛は乳房底面の高さ、乳頭配置の正確さなどの差でこの位置としました。

どうでしょうか?

未熟な審査ですので、納得のいかないこともあろうかと思いますが、苦情を寄せて編集者を困らせないようにして下さい。ありがとうございました。

C 1位



F 2位



D 3位



B 4位



A 5位



E 6位



別海町にあった景観づくり

別海町公民館にて別海町酪農女性のつどいが11月24日に開催され、当農協女性部9人が参加しました。展示コーナーには女性部で作った押し花キャンドルや青野部長の押し花色紙、阿部郁子さんの花の置物、壁掛け、西原珠美さんのマスコットなどが出展され、沢山の人の見てもうりました。

当日、午前の部は講師・内倉真裕美氏による講演「別海町に合った景観作り」を聞きました。内倉さんは恵庭市で恵み野花づくり愛好会事務局長、北海道フラワーマスターを努められてい



観つくり
具裕美氏

るそうで、実際に内倉さんの見てきた花のある風景や庭などをプロジェクトを使って見せていただきました。途中、昼食をはさみ、午後からはハイドロポールを使う寄せ植えの仕方を教えていただき、その後、観葉植物の寄せ植え講習会を行いました。机に並べられた植物の中から好きな物を選び



お洒落な鉢に3つの植物を植えていく作業で時間はそれほどかかりませんが、仕上がりはなかなかのものでした。自分の作った寄せ植えの鉢はどこに飾るのでしようか。小さな鉢なので玄関やトイレに置いてもお洒落ですよ。参加されたみなさんお疲れさまでした。

フレッシュユミセス部会饅頭作り

美味しい饅頭できました

フレッシュユミセス部会では11月26日に饅頭づくりを行いました。この日の参加者は7人。美原の阿部工房に集まり、こしあん、カボチャ餡のお饅頭、コーンフレーククッキーを作りました。餡を丸めたり、生地を作りながら、久しぶりに会う仲間とお喋りも弾みます。生地に餡を詰め、こ

しあんのお饅頭にはクルミをのせて、カボチャ餡のお饅頭にはカボチャの種をのせます。オーブンに入れて15分で焼き上がりです。想像しただけでもいいにおいになりますね！焼き上がったお饅頭は袋にいれ家族へのお土産となりました。とても人気があるお饅頭作り。みなさんとわいわい楽しみ



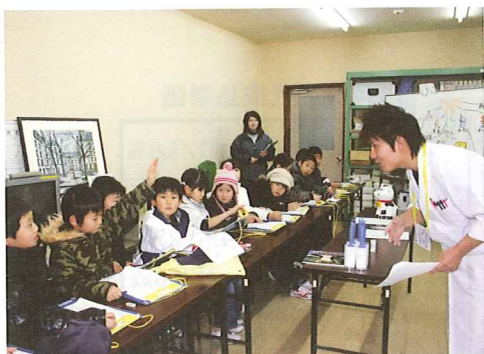
ながら作るのもいい時間ですね。

社会科見学「調べよう 物を作る仕事」

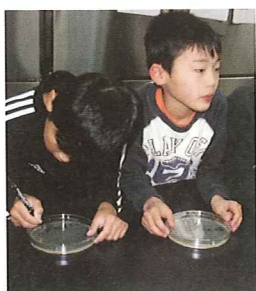
中春別小学校3年生が社会の授業「調べよう 物を作る仕事」という単元で牧場から運ばれた牛乳がどのように検査され、加工されているのかを知りたい！という子供達14人が12月4日、酪農検定検査協会根室事業所を見学しました。

搾った牛乳が集荷され、工場に入りどの様な工程を経て、乳製品になるか図を見ながら説明を受けた後、施設を見学しました。機械

の説明や働いている人が何の検査をしているかなど子供達は真剣に話を聞いていました。



実践では自分たちの手にしている菌がどの位いるのか手を洗う前と、手を洗った後を比べました。最後に子供達から、1日に牛乳はどの位運ばれてくるのですか？どの季節が一番、牛乳の質がいいのですか？などたくさん質問が出されました。





今年も国王は 子供たちに大人気

「食べ物は何が好き?」「王様はどこにすんでるの?」「好きな飲み物は?」など可愛らしい質問が国王に向けられました。国王も思わぬ

「おいまかとも落ち着かない様子でしたが、待ちにまつた国王の到着に大喜び、元氣一杯「こんにちはー」と挨拶。「皆さん元氣でありこうさんにしてましたか?」「お友達と仲良くしていますか?」の国王からの質問に「はい!」「とても元氣で可愛らしい返事。」

「続いて子供たちからは、満面の笑顔を浮かべ「ありがとうございます」と受け取りました。最後に国王と一緒に記念撮影を行い、子供たちにとっては一足早いクリスマスプレゼントとなりました。」



「質問攻めに戸惑いながらも一つひとつ笑顔で回答しておりました。続いては子供たちがお待ちかねのプレゼントタイム。一列に並び一人ひとり国王よりプレゼントを手渡され

11月 乳質乳価一覧表

(単位:円/kg)

		単価	算出基礎	支乳	払価	前年同期	差
乳脂肪分		759.624		31.10	30.12	0.98	
無脂乳固形分		480.561		42.27	40.90	1.37	
補給金		4.0551		4.06	4.24	-0.18	
計画チーズ奨励金							
乳質単価	生菌数	ランク1	2	295,861,896.7kg	3.74	3.77	-0.03
		ランク2	0	5,848,870.5kg			
		ランク3	-3	140,471.8kg			
	体細胞数	ランク1	2	261,392,496.4kg			
		ランク2	1	22,127,778.1kg			
	乳質向上特別対策	ランク1	-2	3,076,218.7kg			
ランク2							
合計				81.17	79.03	2.14	

11月分乳代支払単価

項目	単価(円)/kg	%
乳脂肪分①	31円10銭	
無脂乳固形分②	42円27銭	
補給金③	4円06銭	
チーズ奨励金④		
脂肪率	全道	4.09%
	農協	4.14%
無脂固形分率	全道	8.80%
	農協	8.79%
成分乳価①+②+③+④=⑤	全道	77円43銭
	農協	77円75銭
乳質乳価⑥	全道	3円74銭
	農協	3円77銭
乳代合計⑤+⑥	全道	81円17銭
	農協	81円52銭
	差異	0.35銭

謹賀新年

旧年中は格別のお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。
本年も倍旧のご愛顧の程お願い申し上げます。

2010年 元旦

- 自動車の点検・整備・検査・農機具の修理
- 自動車・農機具の販売<北海道陸運局指定整備工場>



有限
会社

中春別マシンセンター

代表取締役 竹田 國男

別海町中春別南町3番地 TEL(0153)76-2117・FAX(0153)76-2278

謹賀新年

旧年中は格別のお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。
本年も倍旧のご愛顧の程お願い申し上げます。

2010年 元旦

- 支援農作業の一切

WAMP (有)ジェイエー・ワン

代表取締役 竹田 國男

別海町中春別南町3番地 TEL・FAX(0153)76-2861

謹賀新年

旧年中は格別のお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。
本年も倍旧のご愛顧の程お願い申し上げます。

2010年 元旦



訪問介護ステーション「あさひな」

別海町中春別南町3番地 中春別農業協同組合2階
TEL・FAX(0153)76-3383



鏡餅

鏡餅という名称は、昔の鏡の形に似ていることによるものです。昔の鏡は青銅製の丸形で神事などに用いられ、三種の神器の一つでした。現在の形で供えられるようになったのは家に床の間が作られるようになった室町時代以降。鏡餅を飾るのは「八」が末広がり12月28日が最適とされています。鏡開きの日は地域によって違いがありますが、一般的には1月11日とされています。それまでは飾り続けた状態で良いと考えられています。供え終わった時は木槌などで割り汁粉にして食べる習慣があります。

編集後記

組合員の皆様、新年明けましておめでとございます。ご家族おそろいで新たな1年のスタートを迎えられたことお慶び申し上げます。今年も皆様のご健康とご多幸を祈念申し上げます。ご家族が集い賑やかなお正月を過ごされているのではないのでしょうか。一家団欒、お節料理を食へ英気を養い風邪などひかぬよう長い1年に備えていたきたいと思えます。

昨年の忘年会から新年会とお酒を飲む機会も多くなっていることでしょうか。「酒は百薬の長」とは言いますが、飲みすぎにはご留意下さい。

旧年につきましては、組合だよりに対しご支援、ご協力を賜りまして厚くお礼申し上げます。本年も皆様に愛される「なかしゅんべつ」づくりを目指してまいりますので、地域で行う行事、企画など、ご連絡いただければと思います。本年も変わらぬご支援、ご協力のほど宜しくお願いいたします。

